

## 2022年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎  
東京法律公務員専門学校  
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

## 1. 2022年度 学校関係者評価委員会

## &lt;委員&gt; (五十音順)

石井千代枝氏 社会保険労務士法人有賀事務所 事務員  
井野崎徹也氏 立志舎高等学校 教諭  
中本 正幸氏 株式会社新聞ダイジェスト社 代表取締役  
西山 玲央氏 株式会社 REV. 代表取締役  
野澤 政伸氏 榊實法律事務所 弁護士  
星川 大樹氏 防衛省自衛隊 東京地方協力本部 高円寺募集案内所所長

## &lt;事務局&gt;

富 田 修 次 東京法律公務員専門学校 校長  
吉 田 隆 東京法律専公務員門学校 教務部課長  
渡 邊 悟 史 東京法律公務員専門学校 教務部課長

## 2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p><b>イ. 理念、目的、育人人材像は定められているか</b></p> <p>学校の目標を、「学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、法律および文化教養に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や實際生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。」としている。さらに専門分野の特性が明確になるように学科ごとに目標も定め、ホームページで広く公表している。また、学園の基本目標を「学生から信頼され支持される学校づくり」として、教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p><b>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</b></p> <p>本学独自の教育システムである「ゼミ学習」である。「ゼミ学習」によって、各学科の目標とする国家試験や検定試験、公務員採用試験等に高い合格実績をあげることができている。</p> <p><b>ハ. 理念、目的、育人人材像、特色などが学生、保護者等に周知されているか</b></p> <p>ホームページへの掲載や受付掲示、オープンキャンパスでの説明など、学生・保護者等に周知されている。</p>

	<p><b>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</b></p> <p>「ゼミ学習」という本学独自の教育システムを導入したことにより、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、公務員採用試験合格実績、民間企業就職実績が両立している。なお、「ゼミ学習」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 高校では就職実績や合格実績など出口を確認して進路指導を行っている。コロナ禍という状況の中で、高い実績をあげられていることは素晴らしいことだと考える。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p><b>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</b></p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、理事長講話で繰り返し教職員に伝えている。学園の基本目標は、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p><b>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</b></p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p><b>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</b></p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。学校運営に必要な人材の確保と育成を目的としたプロジェクト委員会により改善に向けた取り組みがなされている。</p> <p><b>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</b></p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されているといえる。</p> <p><b>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</b></p> <p>資格取得実績や就職実績をホームページで公開し、速報を作成してオープンキャンパス等で入学希望者に配布している。さらに本人了承のもと氏名や出身高校を記載した合格速報なども配布しており、入学者へのアンケートを見ると、志望者や保護者が判断する際にも役立っている。</p> <p><b>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</b></p> <p>情報システムについては、学務システムと経理システムを個々に運用しており、就職部は求人情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワークを全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。また、全教職員にパソコンを貸与し、業務改善に取り組んでい</p>

	<p>る。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 情報冊子でゼミ学習のことが記載されており、他校との違いがとても感じられ興味をもった。それで直接資料を取り寄せ入学に至ったので、教育活動に関する情報公開が適切になされていると思う。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p><b>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</b></p> <p>カリキュラムは、教育課程編成委員会での外部委員の意見を踏まえてカリキュラム作成委員会で定期的な見直しを行っている。授業はゼミ学習で行っており、知識をより確実にするばかりでなく、積極性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性も涵養している。なお、「ゼミ学習」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。</p> <p><b>ロ. 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</b></p> <p>各学科の目標を明確にし、官公庁説明会および学内就職セミナーで、官公庁および企業から回収したアンケート回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を含め多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。なお、令和3年度はコロナ禍の影響による休校があったが、オンライン授業および夏休みの補講により、また1月の緊急事態宣言時はオンライン授業により全ての授業を実施することができた。また、オンライン授業については Office365 および Zoom を利用した。各学科とも修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するようにしている。</p> <p><b>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</b></p> <p>カリキュラムは、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p><b>ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</b></p> <p>専門知識以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また官公庁および企業の人事担当者による官公庁説明会および学内就職セミナーも実施している。令和3年度合格に向けた官公庁説明会については、2月・4月実施分はオンラインで実施した。令和3年度就職に向けた学内就職セミナーについては、1月・10月実施分は中止した。</p> <p>平成26年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学2年制以上の学科は職業実践専門課程の認定を受け、企業等と連携した実践的な演習を各学科で行っているが、社会の人材ニーズや指導方法などの検証は継続</p>

	<p>していく必要があると考えている。</p> <p><b>ホ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</b></p> <p>授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。</p> <p><b>へ. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</b></p> <p>学則・学生便覧に単位認定試験を行い、成績付与を行うことを明示しており、成績評価・単位認定の基準を明確にしている。ホームページには成績評価・単位認定の基準をより明確に定めている。</p> <p><b>ト. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</b></p> <p>各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験終了後カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。各学科で各科目のシラバスを作成し、カリキュラム編成においても目標達成のため科目の適正な配置を行っている。</p> <p><b>チ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか</b></p> <p>育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p><b>リ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか</b></p> <p>教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。</p> <p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 以前出張で行った大学で「教職員支援機構」の研修会があると聞いたことがある。アクティブラーニングやキャリア教育など貴学にとっても有益と考えられる様々なカリキュラムがあるようなので、興味があれば機構のホームページを確認して検討してみたらよいと思う。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>&lt;まず、各学科より就職実績及び資格取得実績の報告があった。&gt;</p> <p><b>イ. 就職率の向上が図られているか</b></p> <p><b>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</b></p> <p>入学直後の新入生就職セミナーをはじめ進路決定ガイダンス、就職出陣式、官公庁説明会や学内就職セミナーを行っていることにより、就職率・資格取得率とも向上が図られている。なお、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次の様な変更があった。令和3年度合格に向けた官公庁説明会については、2月・4月実施分はオンラインで実施した。令和3年度就職に向けた学内就職セミナーについては、1月・10月実施分は中止した。進路決定ガイダンスは、学校全体でやるのではなく、学科ごとに行った。就職出陣式についてはオンラインで開催した。</p> <p><b>ハ. 退学率の低減が図られているか</b></p>

	<p>一人も退学者を出さず入学した学生全員を卒業させることが最終目標であるため、担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り、声をかけて退学率の低減を図っている。無断欠席者には担任が電話連絡して欠席が長期にならないようにしている。担任以外にも相談できるように学生相談室を設置しており、匿名でも、電話でも相談できるようにしている。</p> <p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 法律学科(4年制)では、就職率、進学率ともに高くすばらしい。また、ロースクール進学後の司法試験合格者も数多く輩出していることもすばらしい。これからはますます多くの合格者を輩出されることを期待したい。</p> <p>(2) 法律専門職コースならびに宅建ビジネスコースは、2年間という短い期間で資格の取得から就職まで至っていることは素晴らしいことだと思う。2年間で充実した学生生活を送っているのではないかと推察される。これからは継続してもらいたい。</p> <p>(3) 公務員上級・中級コースでは、昨年度に比べ就職実績が下がっているが、学生がコロナ禍における試験制度の変更へうまく対応できなかつたり、杉並校に比べ在籍者数が多く多様な学生への対応が難しかったことによる理由を聞き、納得できたのでこれからは頑張ってもらいたい。</p> <p>(4) 法律ビジネス学科については、コロナ禍にあつて高い就職率を果たしていると考え。高校でもこの就職率であれば生徒に進路選択ですすめることのできる学校であると考え。</p> <p>(5) 法律社会学科については、自衛隊は他の公安系公務員試験と異なり体力測定がないので、人物評価に重きを置いている。それにしっかり対応してもらえればもっと就職実績もあがると思われる。</p> <p>(6) 行政学科は、1年制課程ということもあつて入学後すぐに採用試験の受験ということになるので、勉強にまだ本腰が入っていない学生もいるようである。秋に実施される採用試験には、現役の高校生が受験をし、合格率も高いため、それに負けないような指導をされると合格率ならびに就職率の向上も図れるとおもわれる。</p> <p>(7) 学修成果の就職率などの実績については、昨年度の数字も入れてもらえるとうわかりやすい。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p><b>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</b></p> <p>公務員希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願から受験までの相談、指導を行っており、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間就職希望者には、就職相談室を設け、就職担当者およびクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナーを実施している。</p> <p><b>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</b></p> <p>学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にする</p>

が、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。

#### ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか

支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度や延納制度を設けており、奨学金はすべて貸与ではなく給付としている。令和2年4月よりスタートした高等教育の修学支援新制度の修学支援対象校として文部科学省より認定されている。

#### ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、校舎入口付近および教室入口にアルコール消毒液を設置している。また、毎朝、体調チェックシートを学生に配布し、記入させている。更に、教室の机やイス等を毎日定期的に消毒している。

#### ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか

野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。

#### ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか

遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要であるため、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。また、家庭内にWi-Fi環境が整っていない学生に対しては、モバイルルータを貸出し、オンライン授業を受講できるように環境を整える支援を行った。

#### ト. 保護者と適切に連携しているか

学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をしている。

#### チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

本学では「高校生の就職を応援します」と銘打ち、無料で高校生の公務員採用試験受験指導を開催し、多くの高校生に参加してもらっている。また、高校への派遣授業や面接指導など高校の先生からの依頼で、可能な限り高校に赴き無料で指導をおこなっている。

この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。

- (1) 在学中に特待生制度によって経済的側面での支援を受けており、現在もその制度が続いているということで経済的側面に対する支援体制はととのっていると評価できる。経済的な理由で進学をあきらめる生徒もいると思われるので、今後も継続して行ってほしい。また、実績面についてのアピールに加えて、この経済的側面における支援についてもアピールすれば優秀な学生を受け入れることができるのではないかとと思われる。

<p>基準6 教育環境</p>	<p><b>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</b></p> <p>設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置しており、維持管理については定期的な点検整備を行っているため、施設・設備は学生に教育上支障がないように整備されている。令和3年度は、Zoom や office365 を利用して、オンライン授業を行った。また、令和3年3月に、BEST COLLEGES 1号館の全フロアに Wi-Fi 環境を整備した。令和3年4月からは LMS（学習管理システム）を導入し、今までは紙だけの授業だったが、教材をデジタル化して、いつでもタブレットやスマートフォンで勉強できるようになっている。また、これによりコスト削減にも貢献している。</p> <p><b>ロ. 防災に対する体制は整備されているか</b></p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員、学生に防災に対する意識の喚起を行っている。また、防火管理者を置き、消防計画を立てて、自衛消防隊を組織している。災害時対応のみならず、不審者対応も含む危機管理マニュアルに変更・修正し、教職員に周知徹底を図っているが、法令に従って見直していく必要がある。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 適切な4でもよいのではないかと思うが、今後に向けてということなので評価は妥当と考える。タブレットの利用ということについては、高校でも考えていきたいところなので、いろいろ話を聞かせてもらいたい。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p><b>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</b></p> <p><b>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</b></p> <p>公務員採用試験合格において、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せており、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。本学のホームページは、スマートフォンへの対応も行っているので、スムーズに情報が入手できる。また、LINE@、Twitter、Facebook、YouTube、インスタグラムを利用した情報提供を行っている。民間就職についても正社員採用であることにこだわって就職指導している。また、オンラインによるオープンキャンパスや進路個別相談会を行っている。入学選考のうちAO入学に関しては本学のアドミッションポリシーを基準として面談を行っている。本学の理解度、今後のやる気を中心に可否の判定を行っている。留学生に関しては専門の職員を置き留学生全員に筆記試験・面接試験を行い日本語能力、経費支弁能力、日本語学校の出欠席などをもとに入学選考を適正かつ公平に行っている。</p> <p>入学者に対するアンケートを行い、卒業生の活躍する教育成果が進路を決定する上で大いに参考になったとの数多くの回答を得ている。</p> <p><b>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</b></p> <p>学納金に関しては学校の財政基盤の問題がでないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p>

	<p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) SNSを利用した情報提供など、コロナ禍にあって時代にマッチしたものとなっているように思われる。</p> <p>(2) 留学生やAO入学制度などいろいろな制度により、様々な学生を受け入れる体制がととのっていると思われる。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p><b>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</b>  <b>ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</b>  <b>ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</b>  <b>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</b></p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められている。予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、監査報告書を公開している。</p> <p>この基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) ホームページで公開しているということで、財務情報公開の体制整備は適切になされているといえる。また、少子化傾向が続くなかで、安定しているということはすばらしいことであると思う。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p><b>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</b></p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本目標に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けている。令和3年度は、オンラインで研修を受講した。その他必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布したりするなど、法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し施行している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。</p> <p><b>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</b></p> <p>個人情報保護に関しては、個人情報保護規定、プライバシーポリシーを設定している。学園の保有する個人情報を委託業者に取り扱わせる際には、個人情報保護に関する内容を文書化している。また、本学では信ぴょう性を確保する目的で、学生の了解を得られる場合においては、公務員採用試験、国家試験等の合格情報や就職実績の情報を氏名や出身校名を出して掲載している。この場合においては、教職員より学生に趣旨を説明し、文書にて承諾を得た旨記録し、個人情報を取り扱っている。</p> <p><b>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</b></p>



	<p><b>ニ. 自己評価結果を公開しているか</b></p> <p>「自己点検・自己評価委員会」を設置し、自己点検・自己評価を行っており、その結果については学校関係者評価委員会で報告し評価をいただき、ホームページに公開している。</p> <p>この基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 「ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか」について評価はほぼ適切な3にされているが、適切な4でもよいのではないかと思う。自己評価は人が行うものなので難しいところもあるが、そこを踏まえてこれからもしっかりとやっていってほしいし、やっているのではないかと思う。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p><b>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</b></p> <p><b>ロ. 学生ボランティア活動を奨励、支援しているか</b></p> <p><b>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか</b></p> <p>社会貢献・地域貢献全般についてだが、学生のボランティア活動を奨励し、支援している。学生は近隣の道路清掃をしており、その清掃活動は近隣からもとても好評である。各校とも、地域の状況に応じて、社会貢献・地域貢献ができていると思う。本所警察署の防犯ボランティアにも協力しており、振り込め詐欺に注意するよう呼び掛けやビラ配りなどを行っている。</p> <p>この基準10についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 高校でも募金活動やゴミ拾いなどのボランティアを行っており、ボランティア活動を推奨しているが、こうした時勢のなかで実施ができないのは致し方ないと思う。しかし、状況も変わりつつあるので、次年度の評価は変わるのではないかと期待している。</p>